



Fluorochemistry Network News

No.86

February 2014

株式会社 FT-Net

本報告は、フッ素をキーワードとして、文献・特許・新聞を中心に最新の情報を収集し、環境問題、原料情勢・価格、エレクトロニクス、オプトエレクトロニクス、新エネルギー、ライフサイエンス、工業・自動車用途、フッ素化学一般、企業・業界情報に分類し纏めたものである。フッ素はオゾン層破壊問題、地球温暖化問題、そして、PFOS・PFOA問題などの環境問題の厳しい試練を乗り越えつつ、上記のほとんどあらゆる分野において今やなくてはならない存在であり、毎月 1000 件近い特許が出願され、500 件に及ぶ文献が出されるなど、精力的に研究開発が行われている。本報告では、それらのほとんどに目を通して抽出したものを抄録化して掲載している。本報告が企業や研究機関・大学などの事業および研究開発推進の一助になればと願う次第である。

今月の概要

- ◆ パーフルオロアルキルおよびポリフルオロアルキル物質 (PFASs) について、水域環境への出現、毒性を含めた性質、飲料水処理での除去性などの総説を紹介。
- ◆ フッ素樹脂、フィルム、膜に対抗する非フッ素系樹脂であるシクロオレフィン樹脂 (PTFE)、PPE 樹脂 (PTFE)、PET (PVF) や無機/有機ナノハイブリッド膜 (フッ素系膜) に関する記事が目立つ。
- ◆ クレハ・バッテリー・マテリアルズ・ジャパン LiB 用 PVDF 年率 15~20% で拡販。

- ◆ デュポンが新冷媒 HFO を強化。コスト低減へ新プロセス開発、発泡向けは 16 年量産。各社の競争激化の様相。
- ◆ 超撥水表面の開発には、油汚れと機械的なダメージが妨げになっているが、再使用性と回復性を高めるための開発に関する論文を紹介。
- ◆ 電気化学的フルオロアルキル化反応に関する総説を紹介。
- ◆ フッ素化希土類をイオン液体中に分散させた蛍光を発するヒドロゲルに関する論文を紹介。